

2015年度
世 界 史
(問 題)

〈H27093416〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～8ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒		3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

出光美術館に所蔵される「青花龍文壺」は、高さが52cm、カッと見開いた目の三爪の龍が濃い青で描かれ、^A明「宣徳年製」銘をもつ^B染付（青花）の優品である。もと^Cタイのバンコクのコレクションに所蔵され、これと一対をなす壺がニューヨークのメトロポリタン美術館にある。^D景德鎮官窯の製品であることから、^E明朝への朝貢の回賜品と考えられている。このように世界各地に伝来する中国陶磁器は、その時代ごとの由来がある。VOCを組み合わせたマークをもつ陶磁器は、^Fオランダ東インド会社の頭文字を図案化した注文品で、自社使用や東南アジア、ヨーロッパへの輸出品でもあった。^G景德鎮製に交じって日本の伊万里製品が残るのは、^H当時の東アジア情勢が関係していた。一方、^Iイスタンブールの^Jトプカプ宮殿に収蔵される13世紀から20世紀にかけての大量の中国陶磁器は、^Kアッバース朝のサーマッラー遺跡から唐・五代の三彩、白磁、青磁の破片が発見されたことで、早くから陸路でも運ばれたことが分ったが、多くは陶磁の道と呼ばれる海路でもたらされた。また^Lオスマン帝国が征服あるいは臣従させた王朝のコレクション由来のものも含まれ、帝国の全盛期が偲ばれる。

問A 下線部Aについて、この年代の事項として正しいものはどれか。

1. 明で初めて一世一元の制が施行された。
2. 鄭和の最後の南海遠征が行われた。
3. 靖難の役で永楽帝が即位した。
4. 張居正が万暦帝を補佐して財政再建をした。

問B 下線部Bについての説明として誤っているものはどれか。

1. 中国では、南宋製品も発見されたといわれるが、元、明以降の時代に盛んに製作された。
2. 鮮やかな青の発色はコバルト顔料により、顔料の精品はイスラーム世界からもたらされたといわれる。
3. 葡萄唐草文やアラベスク文、西アジアの金属器の形を模したものなど、イスラーム世界の好みを反映した製品がみられる。
4. 白磁をベースに赤や緑、黄や黒、青などの釉で発色させ、清朝の優品は中国陶磁器の最高峰といわれる。

問C 下線部Cのバンコクを首都とする王朝はどれか。

1. ラタナコーシン朝
2. パガン朝
3. アユタヤ朝
4. トゥングー朝

問D 下線部Dについての説明として正しいものはどれか。

1. 浙江省南部に位置し、ここで焼成された青磁は鎌倉時代の日本に輸出された。
2. 鎮は県と同格の、州に属する下級行政区画で県より規模の大きいものもあった。
3. ここで焼成された影青と呼ばれる青白磁は、各地域の需要を満たした。
4. すでに南北朝時代から生産を始め、その唐三彩は日用陶器として使用された。

問E 下線部Eについての説明として誤っているものはどれか。

1. 朝貢国には、回賜品を得る目的で朝貢使節を送る場合があった。
2. 回賜品に不満な大内・細川両氏は、協力して寧波事件を起こした。
3. 明から冊封を受けた琉球は、しきりに朝貢貿易を行った。
4. 明は海禁政策をとる間も、朝貢という名目での海外貿易は許した。

問F 下線部Fについての説明として正しいものはどれか。

1. モルッカ諸島産高級香辛料輸入の価格競争がオランダの不利益となったので、複数の商社を統合して設立された。
2. 中国貿易も試みたが、ポルトガル商人と競合したためにアンボyna事件を起こし、モルッカ諸島からかれらを駆逐した。
3. 清朝に抵抗する鄭芝龍と同盟関係を結び、台湾南部を拠点に東アジア貿易にも活動範囲を広げていった。
4. 17世紀末、オランダ本国がナポレオンに占領されたことにより、会社は解散されジャワはイギリスに占領された。

問G 下線部Gについての説明として誤りがあるものはどれか。

1. 明末清初の戦乱で景德鎮が荒廃したため、伊万里焼が代替物として求められた。
2. 日本で最初の磁器が肥前で焼成され、続いて色絵磁器の製作にも成功した。
3. 清朝の海禁策や沿海住民を強制移住させる遷界令が、海外交易の衰退をもたらした。
4. 日本人を中心とする前期倭寇が、盛んに日本陶磁器を海外にもたらした。

問H 下線部Hについての説明として誤っているものはどれか。

1. ギリシア植民市ビザンティオンがその起源である。
2. 第4回十字軍のときにラテン帝国が建てられた。
3. オスマン1世によって帝国の首都とされた。
4. ハギア＝ソフィア聖堂はイスラームのモスクに改装された。

問I 下線部Iに関係の深い人物は誰か。

1. バヤジット1世
2. メフメト2世
3. アッバース1世
4. イスマイル1世

問J 下線部Jの説明として正しいものはどれか。

1. 正統カリフ時代を終息させ、カリフを代々世襲する慣例を開いた。
2. アラビア半島以外に勢力を広げ、シリアのダマスカスを首都とした。
3. 非アラブ系の改宗者も、イスラーム教徒として平等に扱った。
4. アンカラの戦いで、フラグの率いるモンゴル軍に敗れ衰退した。

問K 下線部Kの航路に位置するイスラーム国家はどれか。

1. ヴィジャヤナガル王国
2. マラーター王国
3. マラッカ王国
4. マイソール王国

問L 下線部Lに該当しないものはどれか。

1. マムルーク朝
2. クリム＝ハン国
3. サファヴィー朝
4. ビザンツ帝国

Ⅱ 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

ルネサンス（Renaissance）はおもに14～16世紀ヨーロッパ社会に起こった運動である。ルネサンスは「再生」を意味し、「文芸復興」と訳されることも多い。古代ギリシア文化、古代ローマ文化を理想としてこれを復興させ、新しい文化を生み出そうとする運動で、思想、文芸、美術、建築など対象は多岐にわたっている。ルネサンスがまずイタリアで始った原因としてはまず北イタリア諸都市の地中海を中心とした貿易活動による経済的繁栄がある。これに加えて、イタリアは古典古代文化をよく継承したビザンツ帝国、イスラーム世界に近くこれらの影響も挙げられよう。とくにオスマン帝国がビザンツ帝国を圧迫するようになると多くのビザンツ学者がイタリアに亡命し、優れたビザンツ文化をもたらしたのであった。

15、16世紀イタリアではフィレンツェ、ヴェネツィア、教皇領などが乱立し権謀術数をつくした政治、外交が繰り広げられた。これにフランス・ヴァロア朝とハプスブルク家の対立が絡み、政治情勢は一層複雑化した。そしてフランス王フランス王1世はミラノ公国を獲得している。他方神聖ローマ帝国皇帝となったハプスブルク家カール5世はフランスとの間にイタリア戦争をおこし、戦争中ローマを略奪し教皇を屈服させ、栄華を誇ったイタリア・ルネサンスにも陰りがみえ始めた。他方ルネサンスは北ヨーロッパにも広がり、ネーデルラント、フランドル地方は高い経済力を背景に美術などの分野で多くの名作が生まれている。

問A 下線部Aに関連して、14世紀から16世紀に起こった戦争の順番で正しいものはどれか。

1. シュマルカルデン戦争ーボワティエの戦いーニコポリスの戦いーアルマダ戦争
2. ボワティエの戦いーニコポリスの戦いーシュマルカルデン戦争ーアルマダ戦争
3. ニコポリスの戦いーボワティエの戦いーアルマダ戦争ーシュマルカルデン戦争
4. アルマダ戦争ーニコポリスの戦いーシュマルカルデン戦争ーボワティエの戦い

問B 下線部Bに関連して、古代ギリシア文化について誤っているものはどれか。

1. ソフィストは雄弁、修辞で知られ、民主政アテネで活躍したが、「詭弁学派」とも言われた。
2. ドーリア式はギリシア前期の建築様式である。
3. 『国家論』などプラトンの哲学は、観念哲学の典型とされる。
4. プロタゴラスは歴史叙述の分野で活躍した。

問C 下線部Cに関連して、帝政期ローマの文化を代表するものはどれか。

1. プリニウスの博物学
2. キケロの『国家論』
3. ボリビオスの歴史学
4. アリスタルコスの天文学

問D 下線部Dに関連して、ルネサンス期イタリアの思想、文芸を代表する者は誰か。

1. ラブレール
2. アベラール
3. ボッカチオ
4. ラブラース

問E 下線部Eに関連して、イタリア＝ルネサンスの美術、建築について誤っているものはどれか。

1. ドナテルロは正確な写実で人間の美や力を表した。
2. ラファエロの代表作として絵画『四使徒』がある。
3. ボッティチェリは独特の女性美を描き出した。
4. プラマンテはサンピエトロ大聖堂の設計に従事した。

問 F 下線部 F に関連して、ビザンツ帝国で起こった出来事で 2 番目にあたるのはどれか。

1. ヘラクレイオス 1 世が即位した。
2. マケドニア朝が成立した。
3. 『ローマ法大全』が完成した。
4. 『聖像禁止令』が發布された。

問 G 下線部 G に関連して、イスラーム文化について人物とその業績について正しい組み合わせはどれか。

1. フワーリズミー — 世界史の叙述
2. フィルドゥシー — 数学研究
3. ウマル＝ハイヤーム — モスク建築
4. ガザーリー — スーフィズムの理論化

問 H 下線部 H に関連して、フィレンツェについての説明で誤っているものはどれか。

1. マキアヴェリが軍制改革を行い、外交家としても活躍した。
2. 中世には絹、毛織物工業で繁栄した。
3. コジモ＝デ＝メディチの頃になるとフィレンツェは没落に向かった。
4. ダンテはフィレンツェ貴族の出身であり、『神曲』を著した。

問 I 下線部 I に関連して、フランソワ 1 世について誤っているものはどれか。

1. 治世中、ユグノー戦争がおこった。
2. 人文主義的な教育を受けた。
3. 行政機構や徴税制度の整備に努めた。
4. レオナルド＝ダ＝ヴィンチを保護した。

問 J 下線部 J に関連して、カール 5 世の治世中に起こったことで誤っているものはどれか。

1. カルロス 1 世としてスペインを統治した。
2. フッガー家の援助で神聖ローマ皇帝に選ばれた。
3. オスマン帝国と戦った。
4. ヴォルムス帝国議会でルター派と妥協した。

問 K 下線部 K に関連して、ネーデルラント地域の歴史の中で 3 番目に起こったことはどれか。

1. 北部 7 州が独立宣言により、ネーデルラント連邦共和国を樹立した。
2. 休戦条約により、スペインは事実上オランダの独立を承認した。
3. 北部 7 州がユトレヒト同盟を結成した。
4. ネーデルラント地域のプロテスタントがスペインに抗し、オランダ独立戦争を始めた。

問 L 下線部 L に関連して、フランドルの説明として誤っているものはどれか。

1. フランドルとは、もと「水に埋もれた地域」を意味する。
2. アムステルダムは、フランドルのなかでも毛織物生産が発達したところである。
3. フランドル画家としては、ファン＝アイク兄弟が著名である。
4. 英仏争奪の対象となり、百年戦争の原因の一つとなる。

Ⅲ 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

17世紀後半、イギリスでは、政治や経済、統治体制の安定化に向けた動きがみられた。Aにおける戦費をまかなうべく、Bイングランド銀行が設立され、同銀行が現代におけるところのCを引き受けることにより、戦費等の融通が行われた。その後、Dイングランドとスコットランドが合同し、グレート＝ブリテン王国となった。

また、イギリスでは、18世紀に入ってからE産業革命が起こったが、その影響はまたたく間にヨーロッパ内外に波及し、それによってヨーロッパ各国ではF社会の様々な分野で大きな変革が生じた。他方で、そうした国々では、経済運営や国家の統治のあり方そのものなどについては未成熟な部分も多く、労働者や中小資本家などから改革を求める声が次第に強まっていった。19世紀中頃にはフランスにおいて、いわゆるG二月革命が起こり、H諸国民の春と呼ばれるヨーロッパ各地における革命や民族運動が続いた。

19世紀のヨーロッパは、人文科学、I社会科学およびJ自然科学のそれぞれの分野においてめざましい発展がみられた時期でもあった。こうした近代科学の発展は、重化学工業や電機工業といった新たな工業分野を生みだし、さらにはK金融資本とも結びついて、ドイツのクルップ社に代表されるLを形成した巨大企業グループなどを出現させることとなった。

問A Aに当てはまる語はどれか。

1. オーストリア継承戦争
2. 南ネーデルランド継承戦争
3. ファルツ継承戦争
4. スペイン継承戦争

問B 下線部Bに関連する説明として正しいものはどれか。

1. ブレトン＝ウッズ体制の確立まで維持されていた金本位制の下で、大量の金を保有していた。
2. 同行の設立に際して勅許を与えたのは、ジェームズ2世である。
3. 現在のイギリスにおける中央銀行である。
4. 現在、通貨としてのユーロの発行権限を有している。

問C Cに当てはまる語はどれか。

1. 国債
2. 信託
3. 株式
4. 為替手形

問D 下線部Dに関連して、当時のイングランドとスコットランドの国王を最後に途絶えた王朝はどれか。

1. ランカスター朝
2. ハノーヴァー朝
3. テューダー朝
4. スチュアート朝

問E 下線部Eに関連して、世界で最初に蒸気機関車による定期的な旅客鉄道の運行がなされた区間はどれか。

1. ストックトン － ダーリントン
2. マンチェスター － リヴァプール
3. ロンドン － ケンブリッジ
4. ヨーク － リーズ

問F 下線部Fに関連して、17世紀以降、ヨーロッパにおいて多くの人々に嗜好されるようになり、ロンドンなどでは、それを供する場所が後に保険市場や証券取引所などに発展していったものはどれか。

1. ワイン
2. オリーブ
3. トウモロコシ
4. コーヒー

問G 下線部Gに関連する説明で誤っているものはどれか。

1. 選挙権の拡大などを求める改革宴会を解散させられたことがきっかけとなった。
2. ギゾーが首相を辞職した。
3. 同革命後の臨時政府にルイ＝ブランが加わり、社会主義的な政策を推し進めた。
4. 1848年4月に行われた選挙によって社会主義勢力が躍進し、その影響力を増していった。

問H 下線部Hに関連して、当時、ドイツにおいて国家としての統一と憲法制定などのために国民議会が開かれた都市に関する説明として正しいものはどれか。

1. ロスチャイルド家が金融業をはじめた地であり、現在、欧州中央銀行の本拠地が置かれている。
2. 1989年にいわゆる冷戦を象徴する壁が開放され、その後の東西ドイツの統一に結びついていった。
3. 1923年にナチスによる一揆（クーデタ）が起こった。
4. グリム兄弟がともに教鞭をとって働いた大学がある。

問I 下線部Iに関連して、19世紀のヨーロッパにおける社会科学分野に関する説明で誤っているものはどれか。

1. サヴィニーによって『中世ローマ法史』が書かれた。
2. ドイツにおいて、民族の精神や歴史を重んじる歴史法学の考え方に對抗する自然法学の考え方が台頭した。
3. リカードによって『経済学および課税の原理』(On the Principles of Political Economy and Taxation)が書かれた。
4. マルクス、エンゲルスらによってマルクス主義経済学が確立された。

問J 下線部Jに関連して、19世紀のヨーロッパにおける自然科学分野に関する説明で誤っているものはどれか。

1. パストゥールによってコレラ菌が発見された。
2. リービヒによって有機化学の基礎が確立され、農業分野や生理学などへの応用も唱えられた。
3. レントゲンによってX放射線が発見された。
4. ダーウィンによって進化論が唱えられた。

問K 下線部Kに関連して、現在でも金融資本の世界的な一大集積地の一つであるロンドン中心部のシティに位置していないものはどれか。

1. イングランド銀行本店
2. グリニッジ天文台
3. ギルドホール
4. セントポール大聖堂

問L L に当てはまる語はどれか。

1. カルテル
2. トラスト
3. シンジケート
4. コンツェルン

Ⅳ 次の文章を読み、空欄 1 ～ 13 は、記述解答用紙の所定欄に適切な語句を記入せよ。下線部14は、その形成の経緯と外交政策上の意義について100字以内で説明せよ。なお、句読点も1字と数える。

1920年代のアメリカにおいて、1 システムと呼ばれるベルトコンベア方式（流れ作業方式）による大量生産の仕組みが普及した。一方、2 が人々の購買意欲を喚起し、大衆も自動車や家庭電気製品を享受できるようになった。また、野球やボクシングなどのプロスポーツやジャズが盛んになり、ハリウッド映画は大衆に新しい娯楽を提供した。3 など新しいメディアの発達、それまで一部の人々に限られてきた文化や娯楽を一般の人々に開放するとともに消費を刺激した。こうした大量生産・大量消費にもとづく「アメリカ的生活様式」は、西洋の伝統的な価値観や文明観を揺るがし、4 の『西洋の没落』は大きな反響を呼んで版を重ねた。

20年代には経済的繁栄のなかで大衆の政治参加も進み、女性参政権も実現したが、中心階層をなしていた5 と呼ばれる白人の間で保守主義的傾向が強まった。白人至上主義の組織KKKが復活したり、二人のイタリア系移民を無実の罪で処刑した6 事件が起きたりした。禁酒法や1924年の移民法も保守的な思想の産物だった。この移民法では、東欧や南欧からの移民制限が強められ、アジア系移民が全面禁止された。

経済と文化で世界をリードする存在になったアメリカだったが、国際政治面では中心的存在にはならなかった。孤立主義を掲げる共和党が20年代の大統領選挙に3代続けて勝利したためである。ハーディングは「7 への復讐」を訴えて当選し、続くクーリッジはアメリカの好景気にささえられて8 主義を推進した。9 は資本主義の「永遠の繁栄」を唱えてアメリカ経済の将来に対する楽観的な見方を示した。しかし、巨額の債権を有し、豊富な資本をかかえたアメリカが長く孤立主義にこもることはありえなかった。10 案（24年）を契機に大量のアメリカ資本がヨーロッパに流入するとともに、アメリカはヨーロッパの政治と微妙なかかわり合いをもつことになる。この新賠償方式の成立後、ヨーロッパ諸国ではドイツの11 とフランスのブリアンが中心になり協調外交を進め、12 条約（25年）やケロッグ・ブリアン条約（28年）が締結された。この協調外交は「西洋の没落」へのひとつの対処であった。他方、太平洋・極東方面に対するアメリカの関心は深く、ハーディングは13 会議（21-22年）を主催して四カ国条約や九カ国条約などを締結させ、アメリカの国際的発言力を増大させた。

〔以 下 余 白〕

